

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	日楽児童ディサービス		
○保護者評価実施期間	R 7 年 1 月 10 日		~ R 7 年 2 月 21 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	~		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R 7 年 2 月 13 日		~ R 7 年 2 月 25 日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自分を出せる場所 (リラックスして過ごされている)	・個々に合った学習や余暇活動を取り組み提供している。	・学習面での質の向上 (パソコン・タブレットを使用し 取り組みやすいようにする。)
2	・全ての児童様が、障害や年齢に関係なく、 関わりが持てる環境	・様々なレクリエーションを実施。 定期的に行いみんなで参加出来る様に している。	・レクリエーションのバリエーションを 増やし、色々な経験をしていただく。
3	・児童様と職員の距離感が近い。	・【専門的支援】を取り入れ、実施している。	・父母の会などを行い外部の意見や情報を 取り入れる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外での活動の場がない。	・活発な児童様が多く、職員の人数配置が 難しい。	・事前に計画を立て、グループに分けての 行動を行う。
2	・外部との交流がほとんどない。	・交流の場がない。	・地域のイベントなどの情報を取り入れ 参加する。
3	・児童数が増え、部屋での活動が限られる。	・以前は、車イスの児童様が多かったが 今は、動かれる児童様が圧倒的に多い。	・発散出来る様なレクリエーションを 増やす。